

謹賀新年 二〇一七



前橋市長 **山本 龍**

あけましておめでとございませう。

本年は市制施行125年の節目の年です。関東では横浜、水戸、東京に次いで4番目の市制施行を誇ります。先人たちが築き上げた歴史と文化をもう一度磨き直し、前橋の誇りを取り戻す挑戦の年にします。

昨年は、4年間の準備を経て、前橋再生への本格的な取り組みがスタートした年でした。市民や企業の力が前橋を変えようと動き出してくださったと感じています。前橋赤字病院の跡地活用や上武道路の「道の駅」も、民間活力をお借りしながら進めています。民間主導で中心市街地の再開発も動き出し、県都らしい街並みになっていくでしょう。「前橋再生」に向けたまちの変化を少し

節目の年に「挑戦」し「誇れる」前橋市へ

スポーツのまち前橋

スポーツも多くのにぎわいをつくりだしました。公道を舞台にした自転車競技「まえばしクリテリウム」の初開催や荻窪町の田をお借りして開催した「どろんこラグビー」、「前橋・渋川シテイマラソン」など、数々のスポーツ大会を開催しました。そして、市民がスポーツで汗を流せる施設として下増田サッカー場や前橋総合運動公園の拡張整備も始まっています。また、グラウンドゴルフやゲートボールの推進、中学校体育館の夜間開放など、生涯スポーツの普及も応援しています。充実したスポーツ施設を活用して各種大会を誘致し、ホテルへの宿泊者を増やすなど、経済効果を上げるための取り組みを進め、市民の皆さんがスポーツに触れる機会を創出し、生涯スポーツの振興を図ります。

あけましておめでとございませう。本年も、開かれた議会を目指して改革を進め、市議会のより一層の活性化と市民福祉の向上、市政の発展に尽くしてまいります。皆さまのご支援とご協力をお願いいたしますとともに、ご健康とご多幸を心から祈念いたします。

前橋市議会議員一同

あけましておめでとございませう。本年も、地域福祉の充実に努め、誰もが安心して暮らせる環境づくりに取り組んでまいります。皆さまのより一層のご理解・ご協力を賜りますようお願いいたしますとともに、ご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます。

前橋市自治会連合会

健康のまち前橋

だれもが健康になってほしいと願っています。スポーツをする機会を増やし、健康診断での病気の早期発見、早期治療も進めてきました。平成24年度からがん検診を完全無料化した結果、本市の人口10万人当たりの75歳未満のがん死亡率は大きく減少しました。今後は、救急車での搬送時間をさらに短縮し、命を守る救急体制の充実に一層努めます。昨年は、自宅にいたままで治療・健康相談ができる仕組み、「おうちで療養相談センター」が発足しました。医師会と地域包括支援センター協働の下、歯科医師会や薬剤師会、柔道整復師会などの医療・介護関係者と連携しながら、「いつまでも健やかに、住み慣れた地域で安心して生活することができる地域包括ケアシステムの構築」に取り組みます。

新しくできる前橋赤十字病院など、医療機関に恵まれた本市が名実ともに「健康医療都市・前橋」になるため、市民の皆さん自らが健康を維持するための努力をお願いします。社会の中で自分の役割を見つけ「いきがい」を持ち続けることが、健康寿命を伸ばすことにつながります。

教育のまち前橋

教育のまちも目指してきました。「赤城山ろく里山学校」や「地域寺子屋事業」などの地域と密着した事業を通じ、社会全体で子育てを応援します。また、「まえばし子育て世代包括支援センター（まえばしサポ）」を中心に、妊娠・出産・育児期の総合的な相談や切れ目のない支援に努めます。さらに、働く保護者にとって一番の課題の安心して子どもを預けられる仕組みとして、病児の子どもを預かる「病児・病後児保育施設」、さらには「放課後児童クラブ」の整備・充実に取り組みます。これまでの学校教育や子育て支援などの取り組みで、出生率は平成24年の1・39から平成27年の1・51にまで持ち直しました。もう一歩です。これから結婚や出産、子育てを応援します。

産業分野では、本市への企業進出が順調に進んでいます。本年3月に上武道路が全線開通するので、前橋の強みの交通基盤はさらに充実します。一層の企業誘致のチャンスと捉え、力強く取り組みながら創業支援

産業・農業が育ち働けるまち前橋

や雇用のマッチングに力を入れます。一方、働き手の不足が深刻に。県内の有効求人倍率が大きく伸び、市内企業も求人苦に悩んでいます。そこで市内の大学や専門学校で学ぶ若者が市内企業へ就職してもらえよう、また東京で学ぶ若者たちも前橋へ戻れるように、就職に関するワンストップ拠点として「ジョブセンターまえばし」を4月にオープンします。ここを核に、ハローワークなどの関係機関と連携して若者や女性の総合的な就職支援をし、地元で学ぶ人・働く人を就業の面から後押しします。

また、本市の強みの農業を「稼げる農業」とするための取り組みを進めます。前橋産農畜産物を全国・世界に発信することで販路を拡大し、一層の本市農業の活性化を目指します。さらに、赤城の恵ブランドなどの六次産業化を応援し、農業者の所得向上を図ります。また、関係機関と連携して耕作放棄地の解消を図り、本市の農地を最大限に活用します。

みんなが共生できるまち前橋

障害のある人が夢を持って暮らせるまちにしなければいけません。昨

市民の力で誇れるまち前橋

さて、昨年は民間主導での「前橋ビジョン発表会」の開催など、市民の力や前橋を良くしたいと思う善意と連携しながら、多くの新たな取り組みが動き出しました。

本年は、3月に上武道路が全線開通となります。さらに、4月には「全国さくらサミット」、11月には「全国商工会議所観光振興大会」が本市で開催されます。また、国際的なスポーツ大会も目白押しです。全国各地から多くの人が訪れることとなります。来訪者の皆さんに誇れるような前橋をつくり上げるには、市民の皆さんのお力添え無しにはなしえません。どうかそれぞれの立場から皆さんの力をお貸しください。思い切って一緒にやりとげましょう。

結びに、皆さんにとって、本年が実り多き素晴らしい一年となりますよう心からお祈り申し上げます。新年のあいさつとします。